

今後とも進めてまいります。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 9 番、脇本啓喜君。

○議員（9 番 脇本 啓喜君） 今、リサイクルだけではなくてそういう有効活用も進めていきたいという答弁をいただきました。ぜひ進めていただければと思います。

それから、最後に国土交通省のホームページ砂防施設の働き、砂防堰堤の働きについてによれば、砂防堰堤（砂防ダム）は、経年でダムに土砂がたまって防災効果があることが記載されています。しかし、近年の大雨時に巖原桟原地区や比田勝の水ヶ浦下流砂防ダムが設置された流域で、近隣地区より被害が激しかった例からも、ある程度土砂がたまったら取り除いた方がダムの効果が向上することは明らかです。砂防ダムにある程度土砂がたまったら取り除いてもらうよう、対馬振興局との連携を図っていただきたいと思います。

また、水害を助長するほど河川に土砂が堆積する前に除去すること、これは県と市といろいろな地域があると思いますが、十分その点についても危険性を認識していながらハード面の不作為の継続をすることは、天災でなく人災と言えるかもしれません。ハード面も可能な限りの対応をお願いして、質問を終わります。

以上です。

○議長（初村 久藏君） これで、脇本啓喜君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開を 11 時 5 分からいたします。

午前10時52分休憩

午前11時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

報告します。小島徳重君から、早退の届出があっております。

引き続き、市政一般質問を行います。13 番、波田政和君。

○議員（13 番 波田 政和君） 皆様、お疲れさまです。13 番議員、政友クラブの波田でございます。市長におかれましては、連日の高等な質疑応答、御苦労さまでございました。

質疑に入る前に、この時間をお借りしまして、一言、対馬市民の皆様方へ御報告とお願いを申し上げます。

対馬市は、合併直後の財政破綻の危機を乗り越え、市制施行 20 年を迎えたわけですが、この間、未曾有の感染症となったコロナ禍を経て日本経済も回復するかとのごとく期待もむなく、対馬島内においても、物価の高騰がボディブローのように家計を圧迫し、閉塞感に包まれ、混沌

とした日々を皆さんお過ごしではないでしょうか。

私ども、対馬市議会は、現在の任期を残り半年で終えようとしております。次の世代への人材へ、議員の役割を確実につなぐことが私たち現職議員の責任であろうかと考えております。

議会を取り巻く現状においても、人口減少と高齢化により、議員へのなり手不足の傾向が小規模自治体に出ており、本市も同様の事態となることが危惧されております。改めて、二元代表制の意義を考えますと、首長と議会は常に危機感と緊張感を持ってその任務に臨まなければ、地域に活力も生まれず、道は開けないと考えております。

当然、対馬市の現状を見れば、我々現職議員の力不足と評価される部分もあると思います。対馬市においては、選挙運動に要する一定の費用を公費で負担する選挙公営制度など明文化し、なりたい人ではなく、なってほしい人の登場に期待をしております。限りなく未来の希望が膨らむ対馬づくりのため、その若い感覚と考えを議会の中に吹き込んでほしいと思っております。

次世代を背負って立つ優秀な人材の登場に期待を込め、広くお伝えしまして、一言添えさせていただきました。何とぞ、よろしく願いしておきます。

では、通告しておりました内容に入らせていただきます。

市長、私の今回の質疑は、おもてなしの心を主に観光面に着目し、流動人口を増やし地域の活性化につながるようにと市政運営に努力を重ねていられることに対して、さらに深みが増す取組ができますようにと、私の私感を入れ、お尋ねします。

私は、文化財や名所とは、地元住民の皆様方が納得し、誇りをもって末永く後世に伝えることが、歴史の検証につながり市の発展があるものと思っております。

そこで、まず初めに、国史跡の金石城跡跡、旧金石城庭園、対馬藩宗家墓所一帯を今回取り上げる中で、清水山城跡も歴史と文化が一体する観光名所であることは、誰もが知るところでございます。

清水山城跡は標高も高く、登城口まで行くのも一苦勞です。現時点では、よそ様の玄関口を横切る進入コースとなっており、博物館からスタートしても、休憩所もなく、ハードなコースであると感じております。

まずは、市民皆様が登城しやすく、町並みと港を見下ろす景観スポットをつくってやるのはいかがでしょうか。

また、登城口中腹まで住宅が点在しておりますことから、市道か私道が登城口付近まであるものと推察します。だとするならば、しっかりとした市道整備が急務ではないでしょうか。

今の時代、登城口まで車両が使用できるとするなら、登城者に思いやりがあるのではと感じております。幸いにも、登城口付近には空き家や空き地があるようなので、何らかの対処はできないものでしょうか。御見解をお聞きしておきます。

次に、上見坂公園までの進入道路の件ですが、現地を起点に、佐須小茂田コース・雞知焼松コース・巖原棧原コースと3方向からの進入ができるのですが、観光を重視し、流動人口に力を入れるはずなのに、印象を悪く持たれるのではと懸念をしております。

個人・団体ともに観光コースを決め、島内を満喫しながらの旅であり、全てにおいて、受入れ側の対応が重要ではないでしょうか。

烏帽子岳展望台、万関展望台、上見坂展望台と、港や山・海を見渡すコースが選ばれているようで、自然の豊かさが対馬の見どころであります。

再来やリピーターになっていただくためへの努力も受入れ側である私たちの務めではないでしょうか。

今回は、巖原棧原地区から上見坂コースの市道についてお尋ねします。

佐須坂トンネル開通により利用車両も少なくなり、台風や大風の後など、通行に支障があるようであります。農道・林道とは違って、観光道路としての位置づけとするならば、市の管理不足が目立つのではありませんか。延長も長く、管理が困難なことも理解しての質疑であります、市長、管理しやすくなる名案などありましたら、後ほど御教授ください。

それと、最後にもう一点、巖原本川にかかっている大手橋橋についてであります、この問題に関しましたら再三お話をさせております関係で、進捗状態は現時点ではよく、不明な点もございますが、これまでにプロのドライバーの方々をはじめ、一般ドライバーの皆様にも聞き取りを試みましたが、石の欄干とか支柱を目線より下げる、ドライバーが目視ができない方の意見が多数でありました。景観も大事で、町並みとの調和も大切なことは理解しておりますが、安全第一が最優先事項だと考えます。

今日まで担当者皆様といろいろな方面から考え方や対策などを協議をしまいましたが、そろそろ政治判断をなされたいかがでしょうか。市長の考え方を聞きまして、再度再質問のときでも掘り下げてみたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 波田議員の質問にお答えいたします。

初めに、国指定史跡清水山城跡は観光名所として案内できる体制なのかということでございます。

現在、清水山城跡へは観光客の多くの方が、観光情報館ふれあい処つしまを集合場所として徒歩で向かわれているケースが多いようであります。清水山城跡の近隣には、金石城跡、旧金石城庭園、万松院が点在し、ストーリー性のある歴史観光ゾーンとなっております。また、対馬博物館及び対馬朝鮮通信史歴史館もこのゾーン内にございますので、これらの史跡等を徒歩で周遊しながら、対馬の歴史に触れていただくことは、対馬旅の魅力であると考えております。

清水山城跡の登山道入り口までは道路がございますが、非常に狭小であり、離合できない場所も多く、住宅が建て込んでいる状況であります。また、トイレについては、既に観光情報館ふれあい処つしま、対馬博物館、清水が丘グラウンドなど近隣に整備されており、十分に整っているというふうに考えております。

なお、道路の拡張や駐車場、トイレ等の整備を進める場合は、観光客の車が増えることで起こる地域住民への影響も考慮が必要であり、現段階では非常に難しいと考えております。

観光物産協会へのヒアリングでは、登山道入り口までのルートが分かりにくいとの声が多いとのことでございますので、今後、誘導板等の設置箇所の精査、手すり等の改修、除草等の環境整備を行い、徒歩での観光利用を進めてまいりたいと考えております。御理解をお願いいたします。

次に、上見坂公園を起点とする市道整備についてでございます。

本市が管理する市道は路線数も多く、台風・豪雨等による被害、また、経年劣化によります施設の老朽化等も進んでおります。路肩等の崩壊などの維持工事をはじめ、路面清掃、側溝の土砂堆積等に対して、各路線の通行量等を勘案しながら対応しているところでございます。

御質問の、市道厳原若田線は、平成28年の佐須坂トンネル開通に伴い、市道に移管された道路であります。移管後は、一般車両の利用頻度は少なくなっていますが、観光地であります上見坂公園までの経路として、市道上見坂線と併せ、観光バス・観光客のレンタカー等の車両が移管前と同様に利用されております。特に、観光地であります烏帽子岳への経路が令和6年4月から通行止めとなったことから、これまで以上に利用されている状況でございます。

このような状況から、豪雨後のパトロール点検、またはバス会社及び個人からの通報・要望などがあった場合は現地を確認し、その都度を維持管理に努めているところでございます。

今後の市道管理につきましては、さらなる管理体制の強化を図り、特に観光地などにつながる重要な路線につきましても適切にパトロールを実施し、市民の皆様、また観光客の皆様が安心して快適に通行できるよう、維持管理に努めてまいり所存でございます。

次に、3点目の横町線と国道接合部の改良についてでございますが、御指摘の箇所におきましては、以前より安全面に配慮した改修が必要ではないかと提案を受けており、私自身も通るたびに危惧しておりましたので、よい工法などないかと検討をしてみました。現状確認、また施工時の状況を調査してみますと、親柱も大きく、袖にある石壁もしっかり固定されてあることから、移設工事の費用もかさむことが想定されるため、市街地の整備事業で橋梁の端部に隅切り部を設け、目視が容易になるように進めているところでございます。

市街地の整備を行います都市計画事業は、市街地の全体的な整備計画を策定する必要があります。そのため、工事着手まで期間を要することとなりますので、仮設的なものでございますが、目視確認を補助するため、カーブミラーの設置を予定しております。

以前にも、子どもから高齢者まで暮らしやすいまちづくりを目指しますと答弁しており、また交差部の改修も都市計画事業に盛り込んで実施していくと答弁しておりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。

それでは、先ほど結論が出ました3項目から再質問したいと思いますが、ただいま市長のお話では、数回にわたる質疑の中で、結論として、隅切りを作る段取りをしておるんだと。しかし、お金もかかるから、いろいろな、市長政治判断、単独ではできにくく、そういった準備しながら進めるということでございますよね。

そこで、この問題に関しましたら、市長もはじめ、誰も優先権がないんです、あそこは。ただ、一時停止だけはありますよ。お互いが確認しなくちゃ進めない場所なんですね。そういうことから考えた場合に、私に言わせますと、もともと国道を一時停止させて、市道が行き止まりなんです。ああいうめちゃくちゃな方法があるわけがない。

それはそれとして考え方もあるんでしょうが、もともと出発から、横町を改良するときにも、あの橋の存在は分かっておったはずなんですよ。一時停止といいますか、直線、優先がある道路でさえ、前で太鼓状になってますから、速度をダウンせんといかんわけです。それもう常に全ての方が御存じです。先ほど話しますようにね、誰もその話をしております。

今、市長が具体的に、仮設的にカーブミラーなんかをやりますと。それは仮設が永久にならないようにだけ1点お願いしておきますが、仮設でもそうでしょうが、本工事をできるだけ早く、先ほどから言いますように、政治判断してください。誰かがどうなってからじゃ遅いんですよという話をしてるんですよ。だから、横町が完了してからもう日にちもたつじゃないですか。それはもうどなたも気づいていると思いますので、何とか住みよいまちづくりができるはずなんです。だから、そこら辺がもう一度、市長、いつ頃になるかだけ教えてください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この都市計画事業につきましては、令和7年度に準備等を順次いたしまして、令和8年度から着手を目標として進めるようにしているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） えっ、私の聞き違いじゃないですね。令和8年という、今令和6年ですよ。そんなにかかるんですか。そうですか。橋かなんかかけかえるんですか。

先ほどの話では、隅切りをと言われましたよ。隅切りが2年もかかるんですか。どうぞ。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 私の言い方がまずかったかなと思いますけども、要はこの橋の改修事業もこの都市計画事業の一環として実施をしていくということで、この都市計画事業に盛り込むために、令和7年度までの作業をして、令和8年度に着手を目標とするということでございます。

あと、もしあれだったら、担当部長の方がそこについては詳しく説明をさせていただきたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 市長、私が尋ねているのは、どちらにしても今の流れで行ったら隅切りでしょう。今までのやり取りの中で理解はしておりますが、都市計画の一環としてやるという御説明ですが、じゃなくて、市長が単独判断でもできるんじゃないですかと、今回尋ねているの。だから政治判断はいかがなんでしょうかと言っているんですよ。どうですか、そこは。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） これについては、単独事業ではなくて、ほかの事業もいろいろございますので、この都市計画事業を活用しながら進めていきたい。その間に、それまでの間、仮設的なカーブミラーを設置したいということで、カーブミラーはすぐにでもできるものというふうに考えております。

担当部長の方から答えさせます。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、内山歩君。

○建設部長（内山 歩君） 仮設的な、補助的な部分になりますけれども、カーブミラーの設置ということで、今年度中には設置するというので今進めております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） なかなか、はいと言いつらいですけど、分かりました。御説明は理解しました。

先ほどから話しますように、もう危険であるということは市長自ら理解していますね。自分が事故に遭われたらもう少しスピードが出るんですかね。そのくらい皆さん困ってありますよ。そこを自分のものと受け入れながら早急な対応を、取りあえずカーブミラーでもということですから、一日でも早く設置していただきながら、全てにマッチングした橋を造ってくれるようお願いをしておきます。

それでは次に、そのまま続けてよろしいですか。上見坂の展望所について再度質疑をしたいと思いますが、市長、先ほどの説明の中で、令和6年4月から烏帽子岳が、通行ができなくなったということから、必然的に、上見坂展望台へ観光バスなどの利用が増えることが問題提起をしているわけですよ、ここで。

そういう中で、市道の在り方、観光ルートを考えてみましても、先ほどから烏帽子岳が使えなくなると、必然のごとく上見坂も対象になってきますよね、観光ルートとして。私が今回、本当に尋ねたかったことは、観光を目的として流動人口を増やしていこうという施策の中で、気づかなかったのかということなんです。烏帽子岳が使えないようになれば、下地区からしまして、もうないじゃないですか、何か所も、高台に上がるところは。そしたら使えないのは使えないんですよ、使用禁止の看板を立てただけじゃなくて。じゃ使えるところにどう気持ちよく行ってもうかと考えるのが、我々の仕事じゃないですかというお話をしているんですよ。

だから、これは気づかなかったなら大変なことですね。市長がいつも言う、流動人口を増やして経済を活性化させろというのはうそになりますから。だからあえてこの話をしております。

私は担当部全ての方々が気づいてあると思いますが、直接苦情がなかったら知らん顔しているんでしょう。そうじゃなくて、先ほどから説明しますように、ここが近日でもよく風が吹きますが、上がってみなはったら分かりますよ。

先ほどから、トンネルが開通してから、市に代わり、市道管理に代わり来るわけですが、抜本的に、伐採するとか、大きく溝の掃除をするとか、観光をメインとした道路に考え方を切り替えるとかしない限りは、あのままですよ。

いつも言いますが、通告してから1週間も10日も日にちがかかっているんですが、市長行かれたんですか、そしたら。ここに、私が通告してから。

そういうふうに、非常に久しく行く人も大変やなと思うんですよ。トンネルが開通してから、なかなか一般も、関係のある方しか行かないみたいですよ。それが観光コースとなったならば、ちょっと力の入れ方が変わってくるんじゃないか。そこだけ気づいていたか気づいてなかったかをまず教えてください。担当部でもいいですよ。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 議員おっしゃられるように、要はやっぱ烏帽子岳のほうが行止めになった際には、こちらの方が恐らく増えるだろうということは、私自身も予測はしておりました。そしてまた、担当部のほうに聞いたときも、やはり観光バス等は増えていますというようなことでございました。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、内山歩君。

○建設部長（内山 歩君） 烏帽子岳線の通行止め、こちらも当然建設課のほうに相談があつて、今後の復旧についてのお話があつて、当然、それに伴って上見坂公園の方が増えるのではないかとということで、そういう認識の下で維持管理はしていたんですけども、やはり議員おっしゃるとおり、維持管理に関して不足の部分があったということで、それから、一応今も、私も昨日現地のほうを歩いて、あと会計年度任用職員、道路工夫のほうにも、この通告があつてから、路面

の清掃とか側溝の掃除とか随時させているところでございますけれども、今後におきましても、先ほど市長が答弁されましたように、重要な路線というような認識で、今後維持管理に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） そうですね。今言う烏帽子岳の関係で、増えてくるだろうとは考えておったということでございますので、先ほどから言いますように、観光客の方に気持ちよく行っただきながらという、リピーターという話もしたと思いますが、それっていうのはやっぱり受入れ側じゃないですかね、全てにおいて。

そういったことで、なかなか個人で、ボランティアで木を切ってどうこうというわけにはいかんわけですよ。だから、やっぱり市道となった以上は、市がどういった形かであそこに着目するんだということを切替えはできないのか。ただ、県から頂いた道路だから、それを県に返せばいいじゃないですか。管理ができません。それはすいませんね、乱暴な言い方なんですけど、市道となった以上は、やっぱりメインとしたら上見坂の公園、展望台をみんな目的として上がらるわけですから、そこに対して私が先ほどから言いますように、観光道路としての区分け、普通の林道じゃなくて、それくらいの感覚にはなれませんか。もう一度御答弁をお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） もちろん、この道路分類上は観光道路というのはございませんけども、通常、観光に資する道路ということでの観光道路として、今後この管理に当たってまいりたいというふうに思っております。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。市長、ワンランク上がった管理体制に今聞こえました。非常に満足しました。そういった形で、要するに迎える側として、次の話も同系になりますけども大事じゃないかなと思いますので、やっぱり先ほどから部長も詳細な説明もあっておりました。それが確実にやっていただけるように、距離が長いから、なかなか大変ですよ。半分にはできんし、道路が。そういった意味から、やりやすいように。

提案なんですけど、道路に出ている伐採、1回切らんと、完全に側溝掃除をしないと、途中途中したって同じことです。一風吹けばもう通れんようになるわけですから。そういうふうに少し管理体制を強固にさせていただきたいなという思いでありますので、この件はそこでよろしく願いしておきます。

それと、この問題の清水山城の話に戻ります。

今回は、なぜこれを取り上げたかと言いますと、金石城周辺から見ますと、案内経路は確かに

設置はしてあります。先ほどからの説明では、徒歩で行くんだと。徒歩で行くんだということも分かります。なかなか徒歩で行きづらいですよ、あそこには。だから、中腹までは市道なんです。私が何をお願いしたいかと言いますと、博物館から上がっていったら、ちょうど突き当たりロータリーまでが市道で、それから登山道は直結しております。階段式で、民家の横を走っていつているところと思います。

そういう中で、先ほどから市長は、私の、休憩所に対しては十分だというような考えの話がなされたようにありますが、私は決してそれが十分だと思いません。やっぱり、あの下から上がっていったら、先ほど一例としてトイレの話も出しましたが、登山道から市長は上がってみませんか。中腹に、空き地とか廃墟と言ったら失礼ですけど、そのくらいの家が点在していますよ。そういったことも、景観面から考えても、その周辺付近整備も一つは考えなくちゃいけないか。で、それは再利用できないかとか、普通考えるんじゃないかなと。

今、私と考え方が違いますから進みにくいんですけども、私としたら、車が使えるものならですよ、やっぱりそれも優しさじゃないかなと思うんですよ。御存じのように、博物館から上がった突き当たり、ロータリーから左側に行きますと、家が20軒ぐらい、私道でしょう、建っておりますよ。そういう中で、山道入り口までその私道が行っているわけですから。そこに行くまでに空き地も点々とあるじゃないですか。私はこの空き地を、市長が優しさを表に出して、そこを借りてやって、自由に休憩ができるとか、そういった配慮はできないかというのが今回の質問なんです。そこはどうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） ここは、私も二、三年前までは昼休み時間に毎日、このところまで散歩で、行って帰ってくるまで約40分くらいかかっておりましたけども、そのような関係で、この地理的には熟知もしているつもりでございます。そこで、ここはやはり道路が途中まで市道と、その先は私道になっているかと思うんですが、ここを改良するということは、ちょっとなかなか難しいことだなということは以前から感じておりました。

そこで私、長崎市のほうが、長崎市内を長崎ぶらぶらということで、そういった観光方針を出しておりますけども、このところについては、冒頭ちょっと答弁しましたように、博物館やら万松院、そしてまた朝鮮通信使博物館等と一緒に、歩く観光施設ということで整備をしたいと思っております。

その際、議員おっしゃられるように、確かに休憩所みたいなところが必要であれば、そこはまた今後、検討をさせていただきたいと思ひますし、その前に、まだまだ案内板等も不足ということでもありますので、ここら辺も精査をしていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 市長、要するにこの名所一帯は徒歩で体験・体感をしていたくものだという思いで進めておりますということですね。それはそれでいいんですが、先ほどから言いますように、提案していますので、私道なり空き地なりを確認とってみてくれませんかと言っているんですよ。

通っていいのか。今市長の話では、私道を何年も通りよった。私道を勝手に通ったらいかんです。私道なら。散歩に行ってきましたと言っておりますが、そういうことを考えたときに、先ほどから言いますように、20軒も住まいがあるわけですね。そしたら、そこに住んである方がおるわけですから、やっぱりそういった整備も必要じゃないんでしょうかという話をしております。

ついでの話に行って水道局長に尋ねますが、あそこに、私道の中に入っていますよね、防火水槽なり。私道に公的資金を入れるんですか、そういう今理屈から言いますと。やっぱりそれは緊急な場合とかまた特例のルールがあるかも分かりませんが、その一言で区切られないじゃないですか。住まいがある以上は住みやすくしてやらないと。

それと同時に、ついでに、優しい観光地にはできないかという話なんですが、もう一度どうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 水道局長の方はまた後ほど答弁させていただきたいと思いますが、要は、議員おっしゃられたように、おもてなしの心を持った観光施策ということでございますので、私たちも、ここについては、階段のところは私も個人有地だったというのはちょっと思っております。昔の赤道みたいな公道的なものかなというふうなことで考えておりましたので、ここについてはまた、後ほど確認をさせていただきたいと思っております。

要は、このところの、おもてなしの心を持って、お客様が本当に喜んでいただけるようなそういう散歩道、長崎で言えば歩いてまわるというか、ぶらさるとかなんとか言ってますけど、（発言する者あり）さるか。ごめんなさい。長崎さるかということで、歩いてまわるということにしておりますけれども、ここは私も何度も言いますが、一応住民の生活を考えたときには、そのことが一番適しているのかなというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 市長、誤解のないように、今の登山道は赤道ということは理解しております。ちょっと言葉のずれがあったかもしれませんが。

私、左側を歩きよるのかと実は思っていたんですよ。今私道の話があったから、それは理解しました。

先ほどから言いますように、観光客だけ、だからそこを歩いていけばいいんですよ、が一つ。住民がおりますから、私どもも何とかあつかつて快適にしてやらなくちゃいけない。私ども、例えば住民も、できれば車社会ですから、左側に行きたいじゃないですか、入り口まで。行ったらバックして帰ってこないかんわけです。

そういうことじゃなくて、先ほどから冒頭にも話しましたように、まず名所と言えども、住民が納得して、すばらしいところであると。このCATVでも流れてますよね、清水山から撮った風景が。すばらしいじゃないですか。そうなったときに、きれいになれば、登山道入り口まできれいになれば、小学生でも幼稚園児でも行けるんですよ。そういった本当に見晴らしのいいところをまず地元の方に見せてやるがためのことも前向きに考えて、観光客だけじゃなくて、お互いいいようになった方がいいじゃないですか。という思いがあって、できることなら、そういった動きを、もう私道なら私道でもいいです。市長が持ち主に言って、ちょっと使わせてくださいと。嫌とは言いませんよ。なぜなら、持ち主が市長を選んでるわけですから。だから、話せば分かってもらえるんじゃないですか。

だから、そういった可能性にかけて、やっぱり優しい観光地づくりをやっていただきたいなという思いがあったので、この件についてはこんな話をしております。だから、あの登山道石階段を上がって行って、怖いですよ。手すりはガタガタなんですから。それ地元の小さい子どもは上がって行きなさいって言えんでしょうが、言えないですよ。だから、その話をしているんですね。そこからならば。

それよりも、もう少し私道を通って、もう邪魔になるかも分かりませんが、有効利用ができたらうれしいなと思いますが、もう一度いかがですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 要は、ちょっと私、先ほどの話がよく見えなかったところがあるんですが、この私道の方は確かに道が一部狭いところがございます。車がまず離合ができない状況でございますが、これをまた広げるとなるとなかなか難しい問題もございますので、今後、離合場所、そういったところが必要なところが確保できれば、そういったところはちょっと今後計画はしてまいりたいというふうには思います。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。

今、明確に、利用者が利用しやすいように考えますよという答弁だったと思います。そういうふうに、できることならば観光客のみならず、住民の方々も満足ができる体制を取りながら、地主さんも含めて、何とか使用させてくれないかとかいうような話が市長ならできると思いますの

で、そういったふうなことをお願いして、今回のおもてなしの心が満足がいつてもらえるように、共に頑張っていきたいなと思っておりますので、力強く押してください。よろしく願いまして、私の質問とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、波田政和君の質問が終わりました。

---

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午前11時54分散会

---